



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド 上場取引所 東・名
 コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 伸
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役上席執行役員 管理部門担当(氏名) 福羅 喜代志 (TEL) 03-3257-5022
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,812	△4.1	△350	—	△155	—	△139	—
2019年3月期第1四半期	6,062	△0.8	△228	—	△160	—	△168	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △440百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △391百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△4.31	—
2019年3月期第1四半期	△4.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	41,334	15,660	36.7	467.22
2019年3月期	40,281	16,458	39.2	487.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,152百万円 2019年3月期 15,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。配当は実施を予定しており、当社の配当方針に従って決定する予定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,600	△1.1	△600	—	△350	—	△450	—	△13.49
通期	26,000	△1.4	△150	—	250	△3.7	50	—	1.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	37,696,897株	2019年3月期	37,696,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,266,783株	2019年3月期	5,266,783株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	32,430,114株	2019年3月期1Q	33,903,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）におけるわが国経済は、企業業績向上や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復が見られましたが、米中貿易摩擦の影響や海外経済の不確実性の懸念などから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、消費者の購買行動の変化にともないEコマース市場の拡大は続いておりますが、個人消費については節約志向が強く慎重な購買行動が続いております。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、引き続き事業の効率化と成長が期待される事業の強化に取り組んでまいりました。

衣料事業につきましては、小売部門は成長を続けるEコマースや主力店舗での販売に注力し売上高の確保に努め、卸売部門は取扱い素材の幅を広げて新規取引の拡大をはかり、製造部門は利益率の高い製品の受注拡大とともに人員配置の見直し等により製造効率の改善を進めてまいりました。国内の小売部門では、当年度の初めに低気温が続いたことや週末の天候不順の影響を受け、売上高は前年同期比で減少いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、前年同四半期は小田原の商業施設「ダイナシティ」において施設の一部のリニューアルを実施してはりましたが、前年度中にリニューアルを終えており、売上高は前年同期比で増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,812百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業損失は350百万円（前年同四半期は営業損失228百万円）、経常損失は155百万円（前年同四半期は経常損失160百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は139百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失168百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,052百万円増加し、41,334百万円（前連結会計年度末比2.6%増）となりました。この主な変動内容は、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の増加、固定資産の増加などです。純資産は798百万円減少し15,660百万円となり、自己資本比率は36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,880	2,784
受取手形及び売掛金	2,924	2,619
たな卸資産	4,146	4,669
その他	1,646	1,685
貸倒引当金	△80	△136
流動資産合計	11,517	11,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,960	7,292
その他（純額）	940	871
有形固定資産合計	6,901	8,164
無形固定資産		
のれん	769	730
その他	2,109	2,020
無形固定資産合計	2,878	2,751
投資その他の資産		
投資有価証券	15,585	15,389
その他	3,629	3,641
貸倒引当金	△231	△235
投資その他の資産合計	18,983	18,796
固定資産合計	28,764	29,711
資産合計	40,281	41,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,550	1,957
短期借入金	6,904	6,940
1年内返済予定の長期借入金	2,187	2,187
未払法人税等	222	120
賞与引当金	102	122
ポイント引当金	35	34
その他	2,792	2,924
流動負債合計	13,795	14,287
固定負債		
長期借入金	5,901	5,848
長期預り保証金	2,851	2,824
退職給付に係る負債	249	241
その他	1,025	2,471
固定負債合計	10,027	11,386
負債合計	23,822	25,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,134	8,082
利益剰余金	4,856	4,512
自己株式	△4,182	△4,182
株主資本合計	15,700	15,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,593	△1,819
為替換算調整勘定	1,689	1,667
その他の包括利益累計額合計	96	△152
新株予約権	181	188
非支配株主持分	480	320
純資産合計	16,458	15,660
負債純資産合計	40,281	41,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,062	5,812
売上原価	3,106	2,992
売上総利益	2,955	2,819
販売費及び一般管理費	3,184	3,170
営業損失(△)	△228	△350
営業外収益		
受取利息	77	71
受取配当金	100	100
為替差益	—	1
持分法による投資利益	—	38
受取手数料	8	23
その他	78	52
営業外収益合計	265	287
営業外費用		
支払利息	35	52
持分法による投資損失	85	—
為替差損	16	—
支払手数料	17	24
その他	42	16
営業外費用合計	197	92
経常損失(△)	△160	△155
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	11	0
その他	0	—
特別損失合計	11	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△172	△155
法人税、住民税及び事業税	54	42
法人税等調整額	△43	△41
法人税等合計	10	0
四半期純損失(△)	△182	△155
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△15
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△168	△139

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△182	△155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△226
為替換算調整勘定	△153	△58
その他の包括利益合計	△208	△284
四半期包括利益	△391	△440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△361	△390
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	△50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が1,494百万円及び投資その他の資産の「その他」が15百万円増加し、流動負債の「その他」が59百万円及び固定負債の「その他」が1,497百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高が34百万円及び非支配株主持分が8百万円減少しております。